

会報



2008. 5. 16

101号

社団法人 福井県放射線技師会

〒918-8223福井市河水町第14号30番地 (南道内装飾ビルC棟1階西)
TEL 0776-57-0696 FAX 0776-57-0699

発行者：池野 徹
編集責任者：西郡 克寛

E-mail: office@fukui-rt.jp
HP: http://www.fukui-rt.jp/

会 告

(社) 福井県放射線技師会

会長 池野 徹

平成19年度 (第60回) 定期総会開催

本会の定款第20条に基づき、

平成19年度 (第60回) 定期総会を下記のとおり開催いたします。

記

1. 日 時：平成20年6月1日 (日) 午前9時30分より (9時受付開始)
2. 場 所：福井県済生会病院 東館3F 大研修室
福井市和田中町舟橋7-1 (TEL: 0776-23-1111)
3. その他：都合により欠席される方は必ず委任状に署名捺印の上返信下さい。
準備の都合上、出席される方もはがきを返信して下さい。

第60回 定期総会次第

開会の辞

会長あいさつ

功労表彰

山崎 徹

勤続20年表彰

江端清和、宮腰裕二、岡崎正人

資格審査委員および総会運営委員選出

各々理事1名、構成員2名の計6名

議長選出

議長登壇

資格審査委員会報告

総会設立宣言

総会運営委員会報告

総会役員選出

書記2名、議事録署名人2名

議 事

第1号議案 平成19年度事業報告、庶務報告、決算報告、監査報告

第2号議案 平成20年度事業計画案、予算案

第3号議案 平成20年度・21年度役員数について

第4号議案 スローガンの承認

第5号議案 その他

議事終了

平成19年度 事業報告

《総括》

昨年の干支の亥は、天変地異が起こる年とも言われていましたが、3月25日には能登半島で強い地震が起き、また、4月15日にも三重県北部で大きな地震が発生しました。地震の多い年は政変も多いと言われていました。その予想は的中し7月の参議院議員選挙では、与野党逆転となり安倍内閣から福田内閣へと変わりましたが、年金問題、日銀総裁人事や道路特定財源問題などで現在も国会が混乱しています。

一方医療のトピックスは、何と言っても再生医療分野でしょう。人の皮膚から万能細胞を作った京都大学教授の山中伸弥さん。先生は神戸大医学部を卒業後、整形外科医として歩み始めたそうで、その後大学院で基礎研究の道へ進まれたそうです。皮膚細胞から作製した万能細胞「iPS細胞」は、さまざまな組織に成長する可能性を持ち、臓腑、心筋、角膜、血液、神経、がん化抑止などの研究に今世界各国で、し烈な研究競争が展開されています。

さて、昨年4月の医療法の一部改正では、医療安全の確保のために病院等の管理者が講じなければならない措置を義務づけられました。中でも機器管理責任者の設置、保守点検および始業・終業点検の実施は、我々診療放射線技師の責務と捉え、10月には放射線機器管理研修会を開催しました。今後も管理士部会を中心に活動していく予定です。

また、6月にはお隣の石川県で第23回全国放射線

技師総合学術大会が開催されました。本県からもたくさんの方が参加し、また運営にもお手伝い頂きました。心からお礼申し上げます。

学術関係では、6月の講演会には約100名、3月の県技師会学術大会には120名を超える会員の参加があり、関心の高さが伺えました。是非来年は発表する側に立って頂きたいと思います。そのためにも今から準備をお願いします。

ところで、日本放射線技師会の生涯学習システムが平成20年度から変わります。平成15年度より毎年実施してきましたADセミナーの県開催が19年度で最後となるため、本年は看護学と救急医療学をそれぞれ開催しました。今後は、DVDによる在宅型と日放技が開催する会場型に変更されます。

また、公益事業としては、毎年行っている休日急患放射線業務と初期被ばく医療従事者講習会への講師派遣の他に、本年度は6月23・24日に開催された「ピンクリボンinふくい2007」に本会も後援し、また乳がん無料検診に、会員よりボランティアを募り活動することができました。今後も他の医療職種とともに地域住民に対し活動していきたいと考えております。

その他各委員会事業についても年々充実してきており、会員及び役員各位のご尽力に対しお礼を申し上げ、以下各委員会の報告に委ね平成19年度事業報告の総括とします。

委員会報告

● 広報・組織調査委員会 ●

1. IT講習会の開催

第7回IT講習会を平成19年11月28日に福井県生活学習館ユー・アイふくいにて開催いたしました。今回のテーマは「ワードを使いこなそう ～日ごろの疑問に答えます～」と題して19名が受講しました。

2. 全国診療放射線技師養成校における県内出身在学生調査
全国診療放射線技師養成校40校に福井県出身者の在学状況を調査いたしました。このうち回答があったのは33校で回答率が82.5%でした。この回答より今年の卒業予定数は25名であり例年とほぼ同じ数字でありました。結果の詳細につきましては、当委員会のHPに掲載しました。

3. レントゲン週間における啓蒙活動について

平成15年より毎年11月2日～8日までのレントゲン週間の啓蒙活動としてポスターを作製し県内の各施設ならびに官公庁に配布し広報活動を行いました。

4. リーフレットの作成

平成12年度からの継続事業であります、リーフレット（マンモグラフィ編）を作成し発刊いたしました。また、当委員会ホームページ上に今回のリーフレットをダウンロードして印刷できるようになっております。

5. 県内放射線技師の意識調査

2月に314名（男性243名、女性71名）の放射線技師会員を対象に放射線技師センター（仮称）の意識調査をおこないました。

回答数は177名（男性134名、女性43名）とアンケート回答率は56.4%（男性55.1%、女性60.1%）でした。詳細は福井県放射線技師会誌第28号を参照して下さい。

特に今回提案した、「放射線技師センター：仮称」のような希望者のみに対して職場紹介の事業を行うべきと答えた会員は152名（86%）、反対は2名（1%）でした。

● 学術研修委員会 ●

1. 学術講演会の開催

テーマ『認定放射線技師についての現状と動向』

～認定制度に関するあなたの知らない世界～

開催日：平成19年6月21日(木) 18:30～21:30

場 所：福井県済生会病院東館3F 大研修室

総合司会：福井大学医学部附属病院 放射線部 山口 功
特別講演

座長：福井県放射線技師会副会長 有房栄嗣

『技師格と認定放射線技師についての現状と動向』

日本放射線技師会専務理事 北村善明先生

シンポジウム

座長：福井大学医学部附属病院 福島哲弥

福井県立病院 柴田雅道

『これからの認定制度について…』

放射線治療領域 福井大学医学部附属病院 西島昭彦

核医学検査領域 福井総合病院 中山昌幸

マンモグラフィ領域 福井県立病院 西出裕子

超音波検査領域 中村病院 木村裕治

消化管造影検査領域 福井社会保険病院 島田正儀

MR検査領域 福井県立病院 村中良之

放射線管理、放射線機器管理、

医療画像情報、他 市立敦賀病院 山崎 巖

2. 学術大会開催

開催日：平成20年3月12日(木) 18:30～21:30

場 所：福井県立病院3階講堂

18:00～ 参加登録開始

18:30～ 開会

18:45～19:35 一般研究発表 (CT・MRI)・
質疑応答

19:40～20:20 一般研究発表 (超音波・情報)
・質疑応答

20:25～21:15 一般研究発表 (一般撮影・
放射線管理)・質疑応答

21:20～ 全体質問・集約

21:30 閉会

一般研究発表

CT・MRI

座長：福井大学医学部附属病院 放射線部 林 弘之

1. 肝臓ダイナミックCTの至適造影タイミング
～ボーラストラッキングを用いた肝細胞癌検
出プロトコルの検討～

福井大学医学部附属病院 放射線部 坂下亮子

2. ASOに対する下肢CTAの有用性と造影方法
の検討

福井循環器病院 放射線技術科 山田芳和

3. 当院における64列MDCTの心臓CT検査

福井県済生会病院 放射線技術部 高原由美

4. 3D-SPGRを用いた前距腓靭帯描出における
撮像断面および肢位の検討

財団医療法人中村病院 画像センター 井谷内達也

超音波・情報

座長：福井県立病院 放射線室 村中良之

5. 超音波用造影剤 perflubutane (Sonazoid)の使
用経験 高村病院 放射線部 江端清和

6. 当院のPACSの現状と展望

福井赤十字病院 中央放射線部 野口清直

7. 当院における院外画像データの共有と諸問題
福井赤十字病院 中央放射線部 西村英明

一般撮影・放射線管理

座長：高野病院 放射線科 松澤和成

8. FPD搭載マンモグラフィ装置のAEC特性

福井県立病院 放射線室 土田萌子

9. イメージングプレートを使用したフィルムデ
ジタルコピーの活用について

(医)保仁会 泉ヶ丘病院 画像情報部 城谷嘉宏

10. 救急時の頸椎カラー装着患者の頸椎開口位X
線撮影

福井大学医学部附属病院 放射線部 大越優祐

11. 県内の漏洩線量測定調査報告

福井県放射線技師会 放射線管理委員会 山崎 巖

● 生涯学習推進委員会 ●

*アドバンスド放射線技師格取得のためのセミナー (ADセミナー)の開催

県技師会としては2回目となる「看護学」と「救
急医療学」のADセミナーを開催した。

「看護学」は、平成19年7月29日(日)、8月5日(日)、
8月12日(日)の3日間、福井市医師会看護専門学校を
会場とし、講師を看護専門学校の先生方をお願いし
て開催した。受講者数は41名(うち一部免除者が9
名)であった。

「救急医療学」は、平成19年12月17日(月)、12月22
日(土)、12月25日(火)の3日間、福井県立病院にて開催
し、講師を県立病院救急救命センター医長の前田先
生と大阪府泉州救急救命センター放射線部技師長の
坂下先生をお願いした。また上級救命講習は、福井
地区消防本部にお願いし、1月27日に開催した。受
講者数は16名、上級救命講習は再受講も含めて25名
であった。

*単位認定試験の開催

10月5日(日)、2月3日(日)に福井県済生会病院にて
単位認定試験を開催した。

*イベントおよび参加実績の申請

福井県で開催した学術活動及び社会活動に対する
日本放射線技師会へのイベントの申請および参加実
績の申請、学術大会での座長、発表者の申請を行った。

● 福利厚生委員会 ●

平成19年度も福利厚生の事業にご協力ありがとうござ
いました。

①夏休み企画第二弾

平成19年8月11日(土)、みくに『かに久』にて「三
国花火をみながら意見交換会」を開催しました。参
加人数が期待はずれに終わりましたが、冷房の効い
た部屋で酒を飲みながらの花火観賞は大満足でし
た。第三弾にも期待してください。

②全国野球大会

平成19年11月23日(金)・24日(土)、小松ドームにて愛
知・岐阜・大阪・石川・富山&福井の5チームの参
加で開催されました。今回福井県は、富山県との合
同チームとして参加しましたが、1勝1敗で4位に
終わりました。遠路応援に来ていただいた御家族の
方もいらっしやいましたが、久々の1勝ということ
でお許し下さい。次年度も頑張りましょう!!

③ボーリング大会

平成20年2月21日(木)、鯖江アル・プラザボールにて48名の参加で開催されました。

今回は、中村病院井谷内君に記録も記憶も持ていかれた大会でした。詳細は技師会誌を参照して下さい。

● 地域医療対策委員会 ●

福井市休日急患センターおよび大野市休日急患診療所における放射線業務の円滑な運営を行なう為に以下のことを行った。

- 1 会員向け出務アンケートおよび出務会員、施設長への依頼文を発送した。(1月)
- 2 出務者の割り振り作業を行なった。(2月)
- 3 年間出務者予定の一覧表および個人別年間出務日程表を作成し、発送した。(3月)
- 4 オリエンテーションを開催した。(3月)
- 5 出務予定者に対し、出務日の案内を葉書による直前連絡で通知した。(通年)
- 6 年間業務量の調査を行った。(3月)
- 7 委員会専用ホームページの委員会情報、出務情報等をupdateした。(通年)
- 8 福井市と大野市へ年間業務報告を行った。(4月)
- 9 日放技への社会活動カウント申請を行った。(4月)

□福井市休日急患センター

- 1 出務費の支払いを4半期ごとに銀行口座振込みをした。(4・7・10・1月)
- 2 年間撮影フィルムの画像評価と撮影条件等の検討を行った。(2月)
- 3 平成19年分の報償費支給明細書(源泉長収票)を作成し郵送した。(1月)
- 4 平成19年度業務委託契約書を交わした。(5月)

□大野市休日急患診療所

- 1 撮影フィルムの画像評価とプログラム撮影条件の検討を行った。(10月)
- 2 自現機等の機器管理を行った。(8・12月)
- 3 平成19年分の報償費支給明細書(参考金額)を作成し郵送した。(1月)

□その他(源泉徴収税関連)

出務会員に対して税務署への出務手当てに関する確定申告を促し、源泉徴収税納付への対応として以下の本年度分帳簿を作成し、福井市税務署、各市町村へ源泉徴収報告を行った。

- ①出務簿 ②口座振込みの記録簿 ③所得税源泉徴収簿 ④所得税納入高計算書兼領収書 ⑤報償費報告書 ⑥源泉徴収票・市町村提出用給与支払総括表 ⑦確定申告を勧める文書

● 放射線管理委員会 ●

例年通り、セミナーの開催と原子力防災訓練へ協力をした。また、漏洩線量測定に関するアンケート調査をして会員にフィードバックを行った。新たに、放射線機器管理士部会を立ち上げるために、放射線機器管理研修会を開催した。

- 1) 放射線管理士セミナー(PCXMCを用いた被ばく線量の推定)
7月8日 済生会病院 参加者19名

- 9月29日 敦賀市少年自然の家 参加者12名
- 2) 初期被ばく医療講習会へ講師派遣
(県民会館・二州健康福祉センター)
- 3) 福井県原子力防災訓練への協力
- 4) アンケート調査(県内漏洩線量測定の実態調査)
3月12日の学術大会にて発表した。
- 5) 放射線機器管理研修会
10月18日福井大学医学部講義棟 講演と会員発表
- 6) 技師会所有の電離箱サーベイメータの校正
- 7) 原子力安全研究協会事業
6月30日 緊急被ばく医療基礎講座II
(WBCコース) 福井県立病院
8月25日 全国拡大フォーラム
福島県 コラッセふくしま
10月30日 地域フォーラム 福井赤十字病院
12月15日 緊急被ばく医療基礎講座I
(除染搬送コース) 杉田玄白記念公立小浜病院
- 8) 福井地区「緊急被ばく医療ネットワーク検討会」
福井県緊急被ばく医療マニュアルの作成
(第3章までの検討)
ネットワーク検討会(7/5・3/18)
作業部会(7/20・10/2・11/26・12/18・2/15)
マニュアルの目次
第1章 緊急被ばく医療について(基本理念・特徴・初動対応・連絡体制等)
第2章 搬送活動(搬送機関の情報収集と情報伝達・搬送機関の対応等)
第3章 医療活動(緊急被ばく医療機関の情報収集と情報伝達・報道機関発表等)
第4章 行政機関(本部の運営・住民対応・安全宣言等)
様式および付録

● 情報ネットワーク委員会 ●

● 技師会ホスティングサーバの管理運用

技師会専用サーバ環境によるWebサーバやメールサーバ等の運用を行った。これまでの運用では特にセキュリティ的な問題もなく安定的運用することができた。

委員会設立時に構築した旧サーバは外部ホスティング移行後も一部機能を使用していたが、OCN移行に伴いその役割を終えたことから3月13日をもって停止した。

● 技師会IT機器の管理運用(PC関連設備、光ファイバー設備、LAN設備など)

事務局・事務所PCの通信インフラとしての設定やサポートおよびセキュリティ対策等を行った。また、日放技イベント管理として会場PCシステムのハード面でのサポートを行った。

技師会事務所PCのリモート管理運用を予定していたが、IPアドレス取得の方法の問題が明らかとなり、次年度の検討課題としたい。

● 県技師会会員データベースの整備

県技師会会員データベースについてのJART会員情報システムからの反映および安定的な運用に努めた。引き続き事務局・事務所作業の効率が上がるよう整備を続けていきたい。

● コミュニケーションインフラとしての構築運用と普及推進

技師会ホスティングサーバを活用し、Webおよびメール・メーリングリスト環境を運用した。

- ・技師会HPの更新
- ・技師会メール環境の整備
- ・各種メーリングリストのサポート
- ・技師会メールニュースの配信

● 出版委員会 ●

すいせん第98号、第99号、第100号、第101号と(社)福井県放射線技師会会誌第28号を発行した。

平成20年度 事業計画案

《総括》

日本放射線技師会では、昨年度定款および諸規程改正を行ってきました。これは、平成20年12月より施行される「公益法人制度改革」に合わせ「公益社団法人」取得に向けての整備であります。またそれに伴い、20年度より会費納入方法が変更され、日放技会費と福井県技師会費を別々に納入しなくてはならなくなり、会員の皆様にはお手数をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程よろしくお願い致します。

さて、平成20年度の最も大きな事業としては、11月23・24日福井市のAOSSAビルにて開催する「第1回中部放射線医療技術学術大会」であります。この学術大会は、例年技師会が開催しています「中日本地域放射線技師学術大会」と技術学会が開催しています「中部部会学術大会」を合同で同一開催いたします。その理由としては、お互いの学術大会の開催日程が近く、会員の負担や演題募集に対し開催県が苦慮しているなどが挙げられます。

そこで、合同開催することにより前記の問題も解消され、規模も大きくなり学術大会の活性化と両会相互の交流が図れると考えます。福井での学術大会の準備に関しては、すでに数回の実行委員会を開催し内容を検討してきました。その結果、一般演題発表の他に特別講演、シンポジウム、市民公開講座、ランチョンセミナー、医療機器展示、意見交換会（懇親会）などを

行うことにいたしました。今後はホームページにて最新情報を掲載していきますので、是非ご覧下さい。

また、演題募集および実行委員についても今後お願いしていきます。会員の皆様の学術大会への運営協力およびご参加をよろしくお願い致します。

次に平成20年度のスローガンとして『医療被ばく低減は、私たちの手から』を掲げ、一年間活動していきたいと考えております。これは、眞柄先生より昨年度いただいたご寄付でノートパソコンを購入し、その中に被ばく線量推測ソフトである「PCXMC」およびCT用「ImPACT」などのソフトをインストールし、被ばく管理用パソコンとして講習会等で使用していきます。また自施設の被ばく線量を把握していただくために大いに活用していただきたいと思っております。被ばく管理は、私たち診療放射線技師の責務であり、患者様が安全・安心して検査を受けていただける活動の一つでもあります。

その他今年度の事業としては、継続的な公益事業である休日急患施設での放射線業務や県原子力防災初期被ばく医療従事者講習会への講師派遣などはもちろんのこと、各委員会においてもアイデア豊かな企画を出しております。

会員各位のご理解ご協力そしてご参加をお願い申し上げます。平成20年度の実業計画案の総括とします。

● 広報・組織調査委員会 ●

1. レントゲン週間イベント
2. 全国診療放射線技師養成校における県内出身在学生調査
3. 放射線技師センター（仮称）について他県放射線技師会の動向調査
4. IT講習会の開催

● 学術研修委員会 ●

1. 学術講演会の開催

場 所：福井県済生会病院東館3F大研修室
日 時：6月下旬～7月上旬 18:30～21:30
内 容：テーマ『医療情報の基礎』

サブタイトル ～HIS, RIS, PACSはもう知らないではられない～

特記事項

- ①4月の診療報酬改正にともない、放射線部門でのフィルムレスは避けて通れない状況になった。そのため、今まで医療情報を避けてきた会員にも理解する深める講演会とする。
- ②福井県内で先進的にフィルムレスを実施した施設から状況と問題点を発表していただく。

2. 学術大会開催

場 所：福井県立病院3階講堂(案)
日 時：2月末～3月初旬予定
内 容：県内会員による学術発表と教育講演会
特記事項

合同学術大会が本県で開催されるため、演題数の確保が難しいことが予測される。

したがって、「学術発表に関するHow to」などの講演を取り入れる可能性がある。

● 生涯学習推進委員会 ●

- ・研修イベント、社会活動イベントの日放技への申請
- ・各イベントへの参加実績、学術大会での座長・発表の申請
- ・中部放射線医療技術学術大会での登録の支援
- ・生涯学習システムの周知、資格更新の支援
- ・ベーシックカードの代理申請

● 福利厚生委員会 ●

20年度の事業におきましても、会員皆様のご協力・参加の程よろしくお願い致します。

①夏休み企画第三弾

仮案『原電見学と地引き網体験ツアー』を開催予定しています。期日は8月17or24日(日)場所は嶺南を考えておりますのでよろしくお願ひします。地引き網で獲れた魚が昼食のテーブルに並びますので新鮮このうえないと思います。また、敦賀の原子力発電所を見学したことはない方は、この機会に是非見てください。

②全国野球大会

平成20年11月1日(土)・2日(日)小松ドームにて開催予定です。今回は、福井県チームとして出場予定なので選手の募集を行っています。自薦・他薦は問いませんので奮って御応募下さい。また、練習試合も考えていますので併せてよろしくお願ひします。

③ボーリング大会

平成21年2月下旬開催予定です。今回は、会場を変えてみようかと思ひます。

● 地域医療対策委員会 ●

福井市休日急患センターおよび大野市休日急患診療所における出務スケジュールリング、撮影指導、機器管理、画質評価等を行い、放射線業務が円滑に遂行できるようサポートする。

- * 日本放射線技師会へ出務会員のポイント申請
- * 平成20年度業務量の統計管理と行政関係への報告書等作成
- * 撮影フィルムの画像評価チェック（撮影条件等の検討）

- * 報償費支給明細書関連簿（①～⑥）の作成と確定申告の勧め
- * 大野市、福井市に対して撮影設備充実のための要望
- * 出務割当関連作業と年間及び直前出務連絡用の個人宛出務日通知の発送
- * オリエンテーションの開催
- * インターネットホームページの委員会情報や出務情報の提供
- * その他（機器管理 etc）

● 放射線管理委員会 ●

防災訓練の協力と、放射線管理士・機器管理士部会の強化を行う。中部放射線医療技術学術大会においてレントゲン週間の事業に取り組む。

- 1) 6月・放射線管理士・機器管理士部会の開催（認定更新について）
- 2) 10月・福井県原子力防災訓練への協力
- 3) 11月・中部放射線医療技術学術大会・レントゲン週間の協力
- 4) ～1月・漏洩線量測定マニュアルの作成
- 5) 放射線管理ソフトの購入と活用

● 情報ネットワーク委員会 ●

外部ホスティング環境の安定的な運用と、会員の皆さまへの新鮮な情報提供が図れるよう引き続き委員会事業の柱としてWeb環境およびメール環境を整備していきたい。特に、技師会ホームページを見直し、Wikiフレームワークでの構築をめざしたい。

また、会員データベースについても、事務局・事務所と連携をとりながらセキュリティに配慮し運用していきたい。

- 技師会ホスティングサーバの管理運営
- 技師会所有IT機器の管理とサポート（PC関連設備、光ファイバー設備、LAN設備など）
- 県技師会会員データベースの整備
- コミュニケーションインフラの構築運用と普及推進（Web、E-mail、MLなど）
- 日放技IT化事業への対応

● 出版委員会 ●

すいせん第102号、第103号、第104号、第105号と(社)福井県放射線技師会会誌第29号を発行する予定です。

第3号 議案

■ 平成20年・21年度の役員数について

今期の役員数は、事業計画書の総括でも書いたように、各委員会の事業と共に20年度は、11月に開催される合同学術大会、また21年度には法人化30周年を迎え、記念事業を行う予定。従って、前期同様の理事14名体制でいきたい。

第4号 議案

■ スローガンの承認

平成20年度スローガン 『医療被ばく低減は、私たちの手から』

(社)福井県放射線技師会財産台帳 (図書・ビデオ)

品名	著者	摘要
明日への旅立ち	中村 實著	
今日の課題	中村 實著	
対話と人間	日本放射線技師会編	
放射線技師の挑戦	日本放射線技師会編	
赤灯の下	松 陽子著	
CTシステム入門	日本放射線技師会編	
労働衛生一般関係法令	日本作業環境測定協会	
骨格X線解剖学	中村 實監訳	
医療放射線管理のための様式集	日本放射線技師会編	
医療用放射線の安全取扱	石坂 正綱著	
NMRの理論と臨床	日本放射線技師会編	
沈黙の医療戦士	日本医療技術団体協会	
35年誌	日本放射線技師会編	
姿勢、展望	中村 實著	
日本人の生活と放射線	菅原 努著	
放射線技師のペーシエントケア	日本放射線技師会編	
患者さんへの思いやり	日本放射線技師会編	
放射線技術臨床実習の手引	小島迪子・小笠原哲著	
実践英会話	日本放射線技師会編	
医療に心を	日本放射線技師会編	
提言 (放射線技師の21世紀への布石)	日本放射線技師会編	
研修100回記念誌	福井県総合画像研究会	
チーム医療と放射線技師	日本放射線技師会編	
35周年記念誌	石川県放射線技師会	著者寄贈
35年のあゆみ	山梨県放射線技師会	著者寄贈
40年のあゆみ	東京都放射線技師会	著者寄贈
リーダーとしての私の考え	東京都放射線技師会	著者寄贈
明日への響	東京都放射線技師会	著者寄贈
21世紀の胎動	中村 實著	
生涯教育テキスト1-6	日本放射線技師会編	
臨床実習指導者としての自覚	日本放射線技師会編	
新しい「医業税制」	医業税制研究会	
右脳クラシック鑑賞法	品川 嘉也	
医療に貢献する放射線技師	√ 日本放射線技師会	
胃X線検査(1)	√ 日本放射線技師会	
プライマリ・ケアにおける頭部CTの読み方 a-c		(K) エーザイ寄贈
放射線技師のインフォームドコンセント a, b		(K) エーザイ寄贈
CT検査を受けられる方へ		(K) エーザイ寄贈
MRI検査を受けられる方へ		(K) エーザイ寄贈
画像診断と造影剤		(K) エーザイ寄贈
明日に刻む対話	中村 實著	
平成の大学	中村 實著	
MRI検査を受けられる患者さんへ	√ 日本放射線技師会	
医用放射線計測学	中村 實監修	金森 勇雄氏寄贈
50周年記念誌	群馬県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	茨城県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	東京都放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山形県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	北海道放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	大阪府放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	兵庫県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山梨県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	福岡県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	宮城県放射線技師会	著者寄贈

50周年記念誌	宮崎放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山口県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	長野県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	京都府放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	富山県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	三重県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	栃木県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	静岡県放射線技師会	著者寄贈
健康政策六法（平成14年度版）	医療法制研究会	日放技寄贈
医療法人のための税務調査対策	中央経済社	著者寄贈
公益法人の税務	公益法人協会	購入
放射線安全管理の手引き	日本放射線技師会編	
50周年記念誌	日本歯科技工士会	著者寄贈

(社)福井県放射線技師会財産台帳（備品）

取得年月日	品名	摘要
1974	印箱	購入
1975	ナンバーリングスタンプ	購入
1978	レターケース	購入
1979	会旗	山本 信次郎氏寄贈
1981	プロジェクター	大橋 基氏寄贈
1982	映写用スクリーン	橋本 剛氏寄贈
1984	レントゲン博士ブロンズ像	(株)コニカメディカル寄贈
1985	スライドホルダー	中村 昭満氏寄贈
1988	救急箱	購入
〃	NECワープロ（文豪3V2）	土谷 重男氏寄贈
1990	コピー機（CANON FC1/2）	中村 昭満氏寄贈
1993	野球ユニホーム一式	山本 稔氏寄贈
〃	書籍箱	中村 昭満氏寄贈
1995	会旗一式	山本 信次郎氏寄贈
1998	NECパソコン バリュースター NXVS20C	山本稔・岡田時治氏寄贈
1999	サーベイメーター（電離箱式）	購入
2000	Panasonic FAX付電話 KX-PW16CL	大西 信蔵氏寄贈
〃	NEC ISDNターミナルアダプター Aterm IT20D	大西 信蔵氏寄贈
〃	EPSON レーザープリンター LP-8300	伊藤医療器株式会社殿寄贈
〃	事務用机	伊藤医療器株式会社殿寄贈
2001	クーラー BOX	購入
2003	パソコン S O T E C	眞柄義一氏寄贈
〃	パソコンラック	眞柄義一氏寄贈
2004	ルーター オムロン	新事務局寄付金より購入
〃	電話 バイオニアTF-F S 12	新事務局寄付金より購入
〃	テレビデオ オリオン	新事務局寄付金より購入
〃	コピー機 Canon	新事務局寄付金より購入
〃	輪転機 Canon	新事務局寄付金より購入
〃	会議用椅子15脚 事務用1	新事務局寄付金より購入
〃	会議用机 8	新事務局寄付金より購入
〃	ファンヒーター ダイニチ	新事務局寄付金より購入
〃	冷蔵庫 シャープ	新事務局寄付金より購入
〃	石刻 中国「寒山拾得像」	関西放射線機器 高見宗助氏寄贈
〃	三人掛ソファ	斎藤綱英氏寄贈
〃	応接用小テーブル	眞柄義一氏寄贈
2005	スチール棚 1セット	清水勲氏寄贈
〃	スチール棚 2セット	山本信次郎氏寄贈
2007	三菱エアコン	購入
2008	事務所用デスクトップパソコン	購入
2008	DELLノートパソコン・線量測定用ソフト	眞柄義一氏寄贈

平成19年度 (社)福井県放射線技師会 決算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

歳入の部

科 目	項 目	平成19年度 予算額 (イ)	平成19年度 決算額 (ロ)	増 減 (ハ) = (イ) - (ロ)	摘 要
会 費		3,094,000	3,082,000	12,000	
	正 会 員	2,480,000	2,456,000	24,000	8,000円×307名(内過年度2名)
	入 会 金	14,000	26,000	△ 12,000	入会者13名
	賛 助 会 員	600,000	600,000	0	20,000円×30社
雑 収 入		580,500	388,983	191,517	
	寄 付 金	0	100,000		
	利 息	500	1,983	△ 1,483	
	そ の 他	580,000	287,000	293,000	福利厚生参加費
受 託 料		500,000	552,000	△ 52,000	
	業 務 受 託 料	500,000	552,000	△ 52,000	原子力防災講習会講師派遣料含む
繰 越 金		65,890	65,890	0	
	繰 越 金	65,890	65,890	0	
歳 入 合 計		4,240,390	4,088,873	151,517	

歳出の部

科 目	項 目	平成19年度 予算額 (イ)	平成19年度 決算額 (ロ)	増 減 (ハ) = (イ) - (ロ)	摘 要
事 業 費		1,670,300	1,224,024	446,276	
	広 報 ・ 組 織 費	180,000	173,748	6,252	
	学 術 研 修 費	180,000	108,723	71,277	
	情 報 ネットワーク費	80,000	56,399	23,601	
	会 報 発 行 費	200,000	136,921	63,079	すいせん発行費
	福 利 厚 生 費	780,000	507,495	272,505	
	生 涯 学 習 推 進 費	30,000	17,700	12,300	
	放 射 線 管 理 費	150,000	152,038	△ 2,038	放射線機器管理士部会活動費含む
	中 日 本 学 術 大 会 協 力 費	30,300	31,000	△ 700	100円/人
	ピ ン ク リ ボ ン 協 力 費	40,000	40,000		
繰 入 金		650,000	650,000	0	
	会 誌 発 行 基 金 繰 入	200,000	200,000	0	
	総 会 運 営 基 金 繰 入	200,000	200,000	0	
	事 務 局 整 備 基 金 繰 入	200,000	200,000	0	
	野 球 大 会 積 立 金	50,000	50,000	0	全国大会石川県開催
会 議 費		150,000	129,090	20,910	
	理 事 会 費	100,000	104,090	△ 4,090	
	代 表 者 会 議 費	50,000	25,000	25,000	
事 務 費		540,000	437,480	102,520	
	印 刷 費	40,000	44,100	△ 4,100	
	消 耗 品 費	40,000	21,496	18,504	
	通 信 費	440,000	366,439	73,561	
	雑 費	20,000	5,445	14,555	
役 員 報 償		30,000	30,000	0	
	監 事 報 償	30,000	30,000	0	外部監事1名分
旅 費		150,000	80,940	69,060	
	役 員 会 旅 費	80,000	73,240	6,760	
	一 般 旅 費	70,000	7,700	62,300	日放技研修委員会非開催の為
管 理 費		70,000	29,165	40,835	
	租 税 公 課	20,000	0	20,000	法人税免除
	役 務 費	50,000	29,165	20,835	登記、各種証明等
事 務 所 運 営 費		797,040	768,872	28,168	
	借 料	137,040	137,040	0	
	人 件 費	600,000	576,040	23,960	
	光 熱 費	50,000	52,819	△ 2,819	原油価格高騰
	日 用 雑 貨 費	10,000	2,973	7,027	
慶 弔 費		80,000	96,656	△ 16,656	
予 備 費		103,050	0	103,050	
歳 出 合 計		4,240,390	3,446,227	794,163	

繰越金 4,088,873 - 3,446,227 = 642,646

平成19年度 (社)福井県放射線技師会 事務局整備基金決算書 平成19年4月1日～平成20年3月31日

歳入の部

科目	項目	科目額	項目額	適用
繰越金	繰越金	2,075,426		
			2,075,426	
積立金	積立金	200,000		
			200,000	
雑収入	雑収入	2,455		
	利子		2,455	
	寄付金		0	
	特別会費		0	
合計		2,277,881		

歳出の部

科目	項目	科目額	項目額	適用
備品購入費	備品購入費	0		
			0	
修繕費	修繕費	45,890		
			7,670	FAX修理
			38,220	コピー機修理代
その他	その他	0		
	倉庫整備費		0	
合計		45,890		

収入金額 2,277,881
 支出金額 45,890
 繰越金 2,231,991

今期繰越金額 2,231,991

平成19年度 (社)福井県放射線技師会 地域医療対策特別会計決算書 平成19年4月1日～平成20年3月31日

歳入の部

科目	項目	平成19年度 予算額 (イ)	平成19年度 決算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
受託料	受託料	2,890,419	2,968,079	△ 77,660	お盆出務追加
		2,890,419	2,968,079	△ 77,660	
雑収入	利息	400	1,269	△ 869	
	寄付金	0	0	0	
	その他	0	1,000	△ 1,000	
繰越金		163,206	163,206	0	
歳入合計		3,054,025	3,133,554	△ 79,529	

歳出の部

科目	項目	平成19年度 予算額 (イ)	平成19年度 決算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
事業費	出務費	2,735,500	2,725,196	10,304	
	研修会費	2,515,500	2,515,486	14	
	広報費	30,000	16,150	13,850	
	備品購入費	40,000	40,845	△ 845	
		150,000	152,715	△ 2,715	
会議費	委員会費	22,000	21,313	687	
		22,000	21,313	687	
事務費	事務連絡委託費	286,000	321,230	△ 35,230	出務振込方法の変更
	印刷費	150,000	250,000	△ 100,000	
	消耗品費	15,000	12,450	2,550	
	通信費	15,000	5,400	9,600	
	送金費	51,000	42,335	8,665	
予備費	予備費	55,000	11,045	43,955	
		10,525	0	10,525	
	予備費	10,525	0	10,525	
歳出合計		3,054,025	3,067,739	△ 13,714	

繰越金 3,133,554 - 3,067,739 = 66,815

平成19年度 (社)福井県放射線技師会 総会運営基金決算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

歳入の部

科目	項目	科目額	項目額	適用
繰越金	繰越金	266,364		
			266,364	
積立金	積立金	200,000		
			200,000	
雑収入	利子 寄付金	0	0	
			0	
合計		466,364		

収入金額 支出金額 繰越金
466,364 190,375 275,989

歳出の部

科目	項目	科目額	項目額	適用
総会費	印刷費	151,150	114,240	総会資料印刷
	通信費		15,500	委任状、資料送付
	会場費		21,410	出席者軽食
	諸経費			
顕彰費	賞状 記念品	38,325	38,325	
			0	
研修費	講師謝礼 諸経費	900	0	
			900	
合計		190,375		

今期繰越金額 275,989

平成19年度 全国野球大会積立金会計決算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

歳入の部

科目	項目	科目額	項目額	適用
繰越金	繰越金	86,127	86,127	
積立金	積立金	50,000	50,000	
負担金	参加負担金	30,000	30,000	宿泊代3,000×10名
雑収入	利子 寄付金	126	126	
合計		166,253		

収入金額 支出金額 繰越金
166,253 100,000 66,253

歳出の部

科目	項目	科目額	項目額	適用
遠征費	遠征費 参加費	100,000	100,000	
用具費	用具費	0		
諸経費	通信費 雑費	0	0	
			0	
合計		100,000		

今期繰越金額 66,253

平成19年度 (社)福井県放射線技師会 会誌発行基金決算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

歳入の部

科目	項目	科目額	項目額	適用
繰越金	繰越金	751,062	751,062	
繰入金	繰入金	200,000	200,000	
広告費	広告掲載費	500,000	500,000	
雑収入	利子 寄付金	0	0	
			0	
合計		1,451,062		

収入金額 支出金額 繰越金
1,451,062 657,544 793,518

歳出の部

科目	項目	科目額	項目額	適用
印刷費	印刷費	642,600	642,600	
通信費	通信費	1,920	1,920	
諸経費	会議費	13,024	9,454	
	消耗品費			
	雑費		3,570	振込手数料他
合計		657,544		

今期繰越金額 793,518

監査報告書

平成20年4月15日

平成19年度（自平成19年4月1日至平成20年3月31日）の社団法人福井県放射線技師会 会計の収支決算書(案)並びに目録について会計監査を行った。

1. 監査方法の概要

会計監査のため、会計に関する帳簿、証憑書類を閲覧し、必要な検査・照合を行い、会計担当理事より説明を受けるなどの方法により、計算

書類の正確性を検討した。

2. 監査結果の意見

上記、各々の収支計算書及び目録は、会計帳簿の記載金額と一致し収支状況及び財産状態を正しく表示しているものと認める。

社団法人福井県放射線技師会

監事 岡田 芳明



真柳 義一



平成20年度 (社)福井県放射線技師会 予算書(案) 平成20年4月1日～平成21年3月31日

歳入の部

科 目	項 目	平成20年度 予算額 (イ)	平成19年度 予算額 (ロ)	増 減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘 要
会 費		3,074,000	3,094,000	△ 20,000	
	正 会 員	2,440,000	2,480,000	△ 40,000	8,000円×305名
	入 会 金	14,000	14,000	0	2,000円×7名
	賛 助 会 員	620,000	600,000	20,000	20,000円×31社
雑 収 入		131,500	580,500	△ 449,000	
	寄 付 金	0	0	0	
	利 息	1,500	500	1,000	
	そ の 他	130,000	580,000	△ 450,000	福利夏休企画・ボーリング大会参加費他
受 託 料		550,000	500,000	50,000	
	業 務 受 託 料	550,000	500,000	50,000	大野市・地域医療支援事務
繰 越 金		642,646	65,890	576,756	
	繰 越 金	642,646	65,890	576,756	
歳 入 合 計		4,398,146	4,240,390	157,756	

歳出の部

科 目	項 目	平成20年度 予算額 (イ)	平成19年度 予算額 (ロ)	増 減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘 要
事 業 費		1,730,400	1,670,300	60,100	
	広 報 ・ 組 織 費	180,000	180,000	0	
	学 術 研 修 費	180,000	180,000	0	
	情 報 ネットワーク費	70,000	80,000	△ 10,000	ホームページの管理運営
	会 報 発 行 費	180,000	200,000	△ 20,000	すいせん発行費
	福 利 厚 生 費	370,000	780,000	△ 410,000	福利夏休企画参加費含
	生 涯 学 習 推 進 費	30,000	30,000	0	
	放 射 線 管 理 費	260,000	150,000	110,000	放射線管理ソフト代、機器管理士部会活動含む
	中 部 合 同 学 術 大 会	380,000	0	380,000	今年度開催(プログラム印刷費含)
	中 日 本 学 術 大 会 協 力 費	30,400	30,300	100	
	ピ ン ク リ ボ ン 協 力 費	50,000	40,000	10,000	
繰 入 金		800,000	650,000	150,000	
	会 誌 発 行 基 金 繰 入	200,000	200,000	0	
	総 会 運 営 基 金 繰 入	200,000	200,000	0	
	事 務 局 整 備 基 金 繰 入	200,000	200,000	0	
	野 球 大 会 積 立 金	50,000	50,000	0	全国大会石川県開催
	30周 年 記 念 事 業 積 立 金	150,000			21年度法人化記念事業準備金
会 議 費		150,000	150,000	0	
	理 事 会 費	100,000	100,000	0	
	代 表 者 会 議 費	50,000	50,000	0	
事 務 費		520,000	540,000	△ 20,000	
	印 刷 費	70,000	40,000	30,000	県会費請求印刷費含む
	消 耗 品 費	30,000	40,000	△ 10,000	
	通 信 費	400,000	440,000	△ 40,000	
	雑 費	20,000	20,000	0	
役 員 報 償		30,000	30,000	0	
	監 事 報 償	30,000	30,000	0	外部監事1名分
旅 費		110,000	150,000	△ 40,000	
	役 員 会 旅 費	80,000	80,000	0	
	一 般 旅 費	30,000	70,000	△ 40,000	
管 理 費		100,000	70,000	30,000	
	租 税 公 課 費	20,000	20,000	0	法人税
	役 務 費	80,000	50,000	30,000	役員改選登記、各種証明等
事務所運営費		807,040	797,040	10,000	
	借 入 料	137,040	137,040	0	
	人 件 費	600,000	600,000	0	
	光 熱 費	60,000	50,000	10,000	
	日 用 雑 貨 費	10,000	10,000	0	
慶 弔 費		80,000	80,000	0	
予 備 費		70,706	103,050	△ 32,344	
歳 出 合 計		4,398,146	4,240,390	157,756	

平成20年度 社福井県放射線技師会 地域医療対策特別会計予算書(案) 平成20年4月1日～平成21年3月31日

歳入の部

科 目	項 目	平成20年度 予算額 (イ)	平成19年度 予算額 (ロ)	増 減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘 要
受 託 料		2,973,969	2,890,419	83,550	
	受 託 料	2,973,969	2,890,419	83,550	業務受託料の増額
雑 収 入		1,000	400	600	
	利 息	1,000	400	600	
	寄 付 金			0	
	そ の 他	0	0	0	
繰 越 金		65,815	163,206	△ 97,391	
歳 入 合 計		3,040,784	3,054,025	△ 13,241	

歳出の部

科 目	項 目	平成20年度 予算額 (イ)	平成19年度 予算額 (ロ)	増 減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘 要
事 業 費		2,707,454	2,735,500	△ 28,046	
	出 務 費	2,621,609	2,515,500	106,109	
	研 修 会 費	25,000	30,000	△ 5,000	出務オリエンテーション2回
	広 報 費	40,845	40,000	845	
	備 品 購 入 費	20,000	150,000	△ 130,000	H19地域事務連絡用PCの入換
会 議 費		25,000	22,000	3,000	
	委 員 会 費	25,000	22,000	3,000	
事 務 費		287,000	286,000	1,000	
	事 務 連 絡 委 託 費	200,000	150,000	50,000	連絡業務を技師会事務所へ委託
	印 刷 費	15,000	15,000	0	
	消 耗 品 費	10,000	15,000	△ 5,000	
	通 信 費	50,000	51,000	△ 1,000	
	送 金 費	12,000	55,000	△ 43,000	
予 備 費	予 備 費	21,330	10,525	10,805	
歳 出 合 計		3,040,784	3,054,025	△ 13,241	

平成19年度 第4回 理事会議事録

平成19年12月19日(水)

会員数：315名（平成19年12月19日現在）

【報告事項】

- 平成20年福井県知事表彰候補者の推薦について
標記書類が医務業務課から届いた。本会より土谷重男会員、中村昭満会員、岡田時治会員の3名を推薦した。叙勲を受けるにはまず県政功労知事表彰受賞が必要である。
- 11月17・18日(土・日) 中日本地域放射線技師学会大会が愛知県産業貿易館で開催された。
本県より、演題1名、座長1名、シンポジスト1名…本県からの参加者数は延べ15名
大会2日間を通じた全体の参加人数は延べ339名でした。
11月17日に中日本会長会議が開催された。
- 「公益法人制度改革に関する説明会の開催について」…福井県健康福祉部医務業務課より
平成20年1月22日(火) 13:00～16:50
福井県民ホール（AOS S A 8階）
本会より有房副会長に参加願います。…理事会承認
- 11月23・24日(金・土) 全国放射線技師会野球大会が小松ドームにて開催された。
今回は、富山県との合同チームで出場。成績は1勝1敗。
- 12月2日(日) 第65回日本放射線技師会臨時総会が東京・星陵会館にて開催された。

本県より代議員として、池野、有房、福島理事が出席した。

- 平成20年度からの会費納入方法について
日放技会費請求書に本会会費請求書も同封して会員に郵送してもらおうよう要望した。なお会員データは12月28日までに日放技に送ること。

【常任理事会報告】

議題1. 大野市休日急患診療所お盆開設要請について

11月28日大野市より、来年度より8月15日・16日のお盆2日間診療所を開設したいとの要望が電話でありました。既に市医師会並びに市薬剤師会は了解済みである。

福井市においては、本年度より8月14・15・16日の3日間お盆を開設した。大野市休日急患診療所においても業務受託しており、今後も出務協力していかなければならない。

・8月15日・16日の診療所開設については、業務受託を了承する。…理事会議決

議題2. 平成20年度中日本学術大会・中部部会合同学術大会開催に向けて

10月31日(水) 第2回合同開催検討会議をAOS S A 5階会議室にて開催した。

議事内容について

今後は、第3回合同開催検討会議を2月頃開催する予定。

大会名称、技師会側第何回の中日本学術大会にするかなどの未承認事項を話し合う。

12月6日(木) 第1回福井県合同開催実行委員会を

福井県済生会病院にて開催した。

議題3. 福井県放射線技師会事業について

◎ADセミナー「救急医療学」開催について
受講者数が16名（1名減った）と少ないため、1月27日に開催する上級救命講習会の受講者を再度募る。（今後「救急医療学」を受講予定している人、再受講者）締切り1月15日…理事会議決

◎AD認定試験について
平成20年2月3日(日) 会場：福井県済生会病院
試験科目：救急医療学、看護学
試験監督官…有房氏、片田氏

◎福井県放射線技師会学術大会開催について
3月12日(水) 会場：福井県立病院にて開催。演題数は現在8題提出されている。

議題4. その他

- ◎福井市医師会新年会開催の案内
日時：平成20年1月18日(金) 午後6時30分より
会場：開花亭（福井市中央）
池野会長が出席する。
- ◎福井県医師会新年会開催の案内
日時：平成20年1月24日(木) 午後5時30分より
会場：ユアーズホテル
池野会長が出席する。
- ◎福井県歯科技工士会新年会開催の案内
日時：平成20年1月26日(土) 午後6時30分より
会場：ウェルシティ福井
有房副会長と相談する…保留
- ◎技師会主催で行われている事業に参加する方への保険加入について
会員の数、前年度の事業実績および保険内容によって値段が決まる。もし加入するなら次年度の予算に保険料として計上する必要がある。必要な経費を試算してから報告する。…池野会長

議題5. 各委員会報告

- 10月6日(土) 中日本地域会長会議
名古屋市にて
- 10月31日(水) 第2回合同開催検討会議
AOSSAにて
- 11月17日(土) 中日本地域会長会議
名古屋市にて
- 12月6日(水) 第1回福井県合同開催実行委員会 福井県済生会病院にて
- H20年1月30日(水) 第2回福井県合同開催実行委員会 福井県済生会病院にて
- 2月9日(土) 合同開催検討委員会
名古屋大学附属病院にて予定

学術大会名
第一回中部放射線医療技術学術大会または第一回中部放射線医療科学学術大会
サブタイトル
技術学会…第43回中部部会学術大会
技師会…第〇〇回中日本地域放射線技師学術大会
以上については2月9日の会議で決定する

特別講演(案)
・福井大学医学部放射線科教授 木村 浩彦先生
・日本放射線技師会会長
・文化講演 etc.
シンポジウムをしたらどのような内容でおこなうか

内容および講師について早急に決めたい。
一般公開講座+レントゲン週間イベント
今後どのような内容の講座を開催するか。イベント内容の企画等考える。

意見交換会会場の選定
・ウェルシティ福井2F 越前の間
・福井県織協ビル8F大ホール
・AOSSA3F（スペース的に狭く100名まで）
賛助会に対し依頼

2月中に賛助会に対し、依頼文発送予定
今後について
・正式な大会名が決定しだいホームページを立ち上げたい。
担当委員 片田理事（1月30日の第2回福井県合同開催実行委員会に出席する）
・予算書の作成
・プログラム概要決定
・実行委員会の結成 etc.

尚、理事会開催前に8階県民ホール、楽屋、リハーサル室および6階レクリエーション室、各研修室等を見学し、係員より説明を受けた。

平成19年度 第5回 理事会議事録
平成20年1月23日(水)

議題1. 平成20年度中日本地域放射線技師学術大会・中部部会学術大会の合同学術大会開催に向けて

開催日 平成20年11月23日(日)~24日(月)
会場 福井駅東口 AOSSA 8F
福井県県民ホールを主会場として

現在までの経緯
H19年7月13日(金) 第1回合同開催検討会議
AOSSAにて

事務局だより

会員数 304名 増減-10名 平成20年3月31日現在

- 勤務先変更** 木下 成路 広瀬病院 → 織田病院
- 改姓** 雨森 美江 → 霜村 美江 (福井日赤)
- 転出** 小栗 達彦 予防医 → 三重県へ
林 弘之 福井大学 → 石川県へ
- 退会** 坂部 孝一 朝倉 哲夫
梶井 彰史 川端 茂義
秋田 雅人 松田 嘉文
新地 啓治
- ご逝去** 山本 信次郎先生

お知らせ

第1回中部放射線医療技術学術大会のご案内

日本放射線技術学会中部部会と中日本地域放射線学術大会との正式合同開催となる第1回中部放射線医療技術学術大会が北陸、福井県にて開催されます。皆さまふるって参加くださいますようお願いいたします。

開催日程：平成20年11月23日(日) 24日(月・祝日)

開催会場：福井県、AOSSAビル、県民ホール